

山河の恵みでつながる  
かつての暮らしを探して。

阿武川歴史民俗資料館開館・阿武川ダム建設50周年記念

萩博物館  
企画展

# ふるさと 萩の承継

阿武川流域の暮らし



水没地域周辺の生活用具

2024年  
12月21日(土) → 2025年  
3月2日(日)



9:00AM ▶ 5:00PM  
(ただし入館は4:30PMまで)

休館日 / 12月30日(月) ~ 1月1日(水)、1月22日(水) ~ 24日(金)、1月8日(水)以降の水曜日  
〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地 TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142 E-mail muse@city.hagi.lg.jp  
主催 / 萩博物館特別展・企画展開催実行委員会 共催 / 萩市、萩市教育委員会 協力 / 阿武川歴史民俗資料館  
後援 / 山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送局、fys FLEW0、yob山口朝日放送、F04vエフエム山口、はあぷビジョン、株式会社エフエム萩

#萩旅

# 阿武川ダム

昭和50年(1975)に完成した重力アーチ式コンクリートダム。三角州上の萩市街地など阿武川下流域の慢性的な水害の防止をはじめ、発電や維持用水の確保を目的に建設されました。

昭和50年(1975)、治水と水力発電を目的とした阿武川ダムが完成しました。これに伴って萩市川上・福栄地域の9つの集落がダム湖に水没し、206戸の人々がふるさとを離れることとなりました。ところが、阿武川ダム完成から50年を経たことで、故郷を離れざるを得なくなった人々が営んできたかつての勤勉な暮らしや、ダムによってもたらされた恩恵の多くが忘れ去られつつあります。本展では、3月まで冬期休館中の阿武川歴史民俗資料館から、ダム建設を機に収集された水没地域周辺の道具たちの一部を特別に萩博物館に集約し、それらの魅力に迫ります。また、資料から阿武川によって育まれた豊かな生活文化を再発見し、密接につながり互いに支えあった城下町・萩を含む阿武川流域一帯に広がる「ふるさと」の姿を振り返ります。



山仕事や川漁の道具

## 阿武川ダム&阿武川歴史民俗見学ツアー

普段は見ることのできない内部施設を含めた阿武川ダムの見学ツアーを開催します。ダム見学後は冬期休館中の阿武川歴史民俗資料館を特別に公開し、企画展担当者の解説とともにご覧いただけます。

日時/令和7年2月28日(金)13:00~15:00  
集合/阿武川歴史民俗資料館(〒758-0141 山口県萩市川上小市ケ谷2319)  
協力/阿武川ダム管理事務所  
定員/20名 参加費/500円 参加方法/電話またはHPから申し込み(先着順)  
※申し込み期間/令和7年1月20日(月)~2月14日(金)

## ギャラリートーク

展示担当者が展示のみどころをご紹介します。

日時/令和6年12月21日(土)、  
令和7年1月18日(土)、  
2月15日(土)  
各回14:00~15:00  
会場/萩博物館 企画展示室  
参加費/無料(観覧料のみ)

申込不要

## 体験イベント 「柿渋塗りで小物づくり」

柿渋は虫除けや防腐の効能があり、古くから桶や樽の塗装に用いられてきました。和紙を貼り付けたザルや手カゴなどに柿渋を塗ってオリジナルの小物をつくりませんか。

日時/令和7年2月23日(日)10:30~12:00  
会場/萩博物館 定員/20名 参加費/300円  
参加方法/電話またはHPから申し込み(先着順)  
※申し込み期間:令和7年1月20日(月)~2月21日(金)  
その他/エプロンをお持ちいただくか、汚れてもよい服装でお越しください。  
※当館には更衣室はございません。

# 阿武川歴史民俗資料館

阿武川ダムの建設に伴い、水没地域を中心に採集された約1万4千点(開館当時)の民俗資料が収蔵されています。川上・福栄地域の阿武川流域におけるかつての勤勉な暮らしを伝える民俗資料群は学術的にも注目されています。  
※阿武川歴史民俗資料館は12月1日(日)~3月31日(月)は冬季休館中のためご観覧できません。

古写真撮影:角川政治氏

## 同時開催展示・行事情報

### 世界遺産登録10周年記念特集展示

## 「明治日本の産業革命遺産」

萩城下町・萩反射炉・恵美須ヶ鼻造船所跡・大板山たたら製鉄遺跡・松下村塾のほか、全23件の構成資産を写真パネルで紹介いたします。

会期/令和6年12月21日(土)~令和7年3月16日(日)  
会場/萩博物館 人と自然の展示室

### 開館20周年特別展示シリーズその5

## 学芸員イチオシの逸品 「萩・相島のツヅリ(裂織の仕事着)」

緯糸(よこいと)に使い古した木綿布を細く裂いたものを用いて織られた布を裂織(さきおり)といいます。細やかな手仕事によって生まれた仕事着の美しさをご体感ください。

会期/令和6年12月21日(土)~令和7年2月9日(日)  
会場/萩博物館 人と自然の展示室

### 体験イベント

## 「裂織(さきおり)を織ってみよう!

小さな機織り機(はたおりき)を使ってコースターなどの小物を織ってみませんか。

日時/令和7年2月9日(日)10:00~12:00、13:00~15:30  
会場/萩博物館 講座室  
参加方法/入館券をお持ちの方はどなたでもご参加できます。(申込不要)  
参加費/無料  
※上記の時間はいつでもご体験できます。状況によってお待ちいただく場合もございます。

開館時間/9:00AM~5:00PM(入館は4:30PMまで)  
駐車場/有料 ※ただし萩市民は無料  
普通自動車(軽自動車を含む) 93台(1回310円)  
大型自動車(マイクロバスを含む) 8台(1回1,050円)  
観覧料/大人520(410)円 高校・大学生310(250)円  
小中学生 100(80)円 未就学児 無料  
※( )内は割引料金(団体割引20名以上・障がい者割引)

# 萩博物館



館内にレストラン・ショップもあります

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地  
TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142  
E-mail:muse@city.hagi.lg.jp  
公式ホームページ <https://hagimuseum.jp/>



### 交通アクセス ※当日の運行状況をご確認ください。

- 車:中国自動車道美祿東JCT・小郡萩道路(無料)絵堂ICより約25分
- バス:JR新山口駅より直行バス約60分、路線バス約90分  
(萩バスセンター及び萩・明倫センターよりタクシー約5分/徒歩約20分)
- 鉄道:JR山陰本線 東萩駅及び萩駅下車、タクシー約10分/徒歩約40分
- 乗合タクシー:萩・石見空港より約75分(前日までに要予約)
- 萩循環まあるバス(東回り):市役所前より約5分

